

講演会のご案内

日本アート評価保存協会では、若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様に講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。**一般の方もご参加いただけます。**

2018年

6月19日(火) 18:00～

都市有害生物管理学会
会長

杉山真紀子氏

『薬剤に頼らず文化財を守る』

博物館・美術館・図書館の現場で害虫・カビの駆除と被害防除に携わって40年

6月は、日本では一般に梅雨の季節です。じめじめとした天候が続いているこの時期の室内は、高温多湿になり、害虫やカビの繁殖に絶好な環境になっています。家庭や飲食店、食品工場内での害虫やカビ、細菌の繁殖には細心の対応が必須です。博物館、美術館、図書館でも同様で、しかもこういった施設には、大きな出入り口と搬入口があり、木、布、紙などといった害虫やカビの好物となる食料が豊富にあり、外国からの搬入も度々あります。一旦入ってしまった害虫、カビは外敵に脅かされる事もなくどんどん繁殖してしまいます。まさに快適な居住空間といえます。害虫やカビばかりでなく、ネズミやタヌキといった動物類、カラスやハトなどの鳥類、また最近ではイノシシやクマなどの大きな野生動物や、外来昆虫による被害も多発しています。

私の仕事は、各種の博物館、美術館、図書館などを回り、それぞれ違った条件と被害状況を細かく点検して、侵入経路を特定し、そこに繁殖している生物の行動学と生態から、まず駆除、それから侵入経路を遮断し、これからの被害防除を行い、殺虫剤を使用しない対処および持続可能な管理を指導しています。

今回の講演の内容

- ・美術品、文化財、資料を加害する害虫、カビの種類と被害状況
- ・薬剤使用の悪影響 その背景にあるもの
- ・IPM (有害生物に対する総合的な対処・防除・持続的な管理) とは？
- ・薬剤を使用しない対処の例として温湿度管理、トラップ (捕獲) の種類、脱酸素方法など

杉山真紀子 (すぎやま・まきこ)



【略歴】

慶応義塾大学文学部卒業。東京芸術大学美術学部大学院保存科学専攻博士課程修了。「有機合成殺虫剤の美術材料への影響」で学術博士号を取得。

カナダ国立文化財研究所、東京芸術大学、昭和大学、東北芸術工科大学などで非常勤講師を勤め、また各種の企業と殺虫剤が及ぼす影響について合同実験および新製品の開発に携わった。無酸素展示ケースに関する特許は3報取得。現在は都市有害生物管理学会会長、日本「床の間文化」学会会長、企業の顧問などを歴任。

申込方法

事務局まで直接お問い合わせ下さい。

(メール) info@ja2pa.or.jp

(電話) 03-3569-1250

※電話受付時間 平日 10:00~18:00

聴講料

500円 ※要申込み

会場

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階

〒100-0006

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階

TEL 03-3569-1250 FAX 03-3569-1251 info@ja2pa.or.jp <http://ja2pa.or.jp>



一般社団法人 日本アート評価保存協会